

DENON

PROFESSIONAL

DN-500BD MKII

ユーザーガイド



安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器をしないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、以下の使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を必ずお読みください。
2. 注意事項を必ずお守りください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには置かないで下さい。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに乗せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 主電源プラグまたはアダプターをコンセントからいつでも抜ける状態にしておいてください。
17. 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
18. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒークップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
19. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。



このマークのついた製品は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に、アダプタのアース線を接地してご使用ください。

inMusic Japan 株式会社 カスタマーサポート部

東京都港区南麻布 3-19-23 オーク南麻布ビルディング 6 階

[Web] inmusicbrands.jp

[サポート] www.inmusicbrands.jp/support

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

DN-500BD MKII 本体 ラック耳、ネジ
電源ケーブル ユーザーガイド/保証書（本書）
リモコン

サポート

本製品の最新情報（システム要件や互換情報など）は、DENON Professional の Web サイト（inmusicbrands.jp/denon_pro/）をご確認ください。
また、修理や使用方法などのお問い合わせは、カスタマーサポートにご連絡ください。
（inmusicbrands.jp/denon_pro/support/）

安全について

電源を入れる前に： すべての接続が接続ケーブルに問題がなく、安全に正しく行われているか確認してください。本体の電源がオフになっていても、回路の一部に電力が供給されています。長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

換気について： 本機を換気が不十分な場所や、タバコやほこりなどの多い環境に長時間放置した場合、光ピックアップの表面が汚れ、誤動作する恐れがあります。

結露について： 本体内部と周囲の温度差が大きい場合、内部に結露が発生し、本機が正常に動作しなくなることがあります。このような場合は、電源を切って1～2時間放置し、周囲との温度差がない状態になってから使用してください。

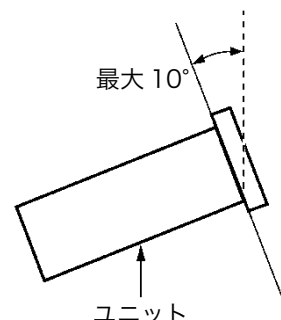
携帯電話の使用に関する注意事項： 本機の近くで携帯電話を使用すると、ノイズが発生することがあります。このような場合には本機から携帯電話を離して使用してください。

移動について： 本機を移動する場合には、まず電源を切り、電源コンセントから電源ケーブルを外します。次に、他のデバイスからの接続ケーブルを外します。

お手入れについて： 柔らかい布できれいにキャビネットとパネルを拭きます。化学洗浄剤を使用する場合には、指示に従ってください。本機の清掃に、ベンジン、シンナー、殺虫剤、または他の有機溶剤を使用しないでください。これらは、材料の変更や変色を引き起こす可能性があります。

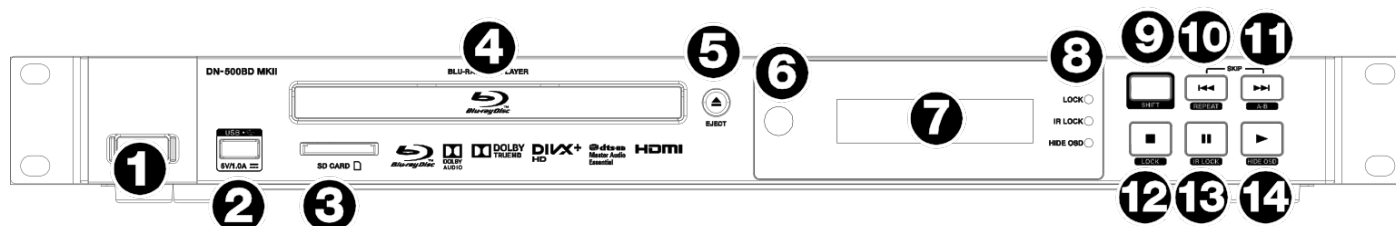
ラックマウント時の注意 EIA 標準 19 インチ（483mm）ラック、1U サイズのインストール互換性のあるラック、デバイスを支えられるガイドレールまたはシェルフボードを備えたラック

ラックへの設置： 本機が正常に動作するには、プレーヤーユニットがフロントパネルの垂直面から 10°以内に取り付けられている必要があります。本体が過度に傾いている場合、ディスクが正しく読み込めないことがあります（画像参照）。



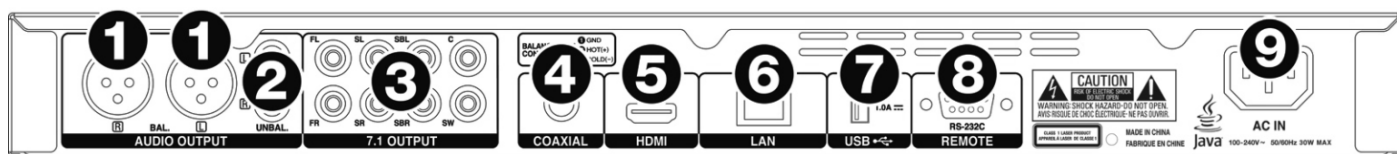
機能

フロントパネル



1. **電源スイッチ**：DN-500BD MKII 本体の電源のオン/オフを行います。ボタン上のライトが、赤のときはオフを、緑のときはオンを示します。AC 入力電源コンセントに正しく接続されていることを確認してください。また、メディアの再生中には、本機の電源を切らないでください。メディアが損傷する可能性があります。
2. **USB ポート**：USB デバイスをこのポートに接続します。詳細については、[操作 > ファイルを再生する（ビデオ、オーディオ、または画像）](#)の項目を参照してください。
3. **SD カードスロット**：ここに SD カードを挿入して音楽ファイルを再生します。詳細については、[操作 > ファイルを再生する（ビデオ、オーディオ、または画像）](#)の項目を参照してください。
4. **ディスクトレイ**：トレイを開き、互換性のあるディスクをここに挿入します。
5. **取り出し**：ディスクトレイの開閉を行います。
6. **リモートセンサー**：リモコンを操作するときは、このセンサーに向かって操作をしてください。詳細については、[リモコン](#)の項目を参照してください。
7. **ディスプレイ**：この画面には、本機の現在の操作が表示されます。
8. **モードインジケータ**：これらのランプは、特定の機能が有効か無効かを示します（ロック、IR ロック、または OSD を非表示）。詳細については、[その他の機能](#)の項目を参照してください。
9. **シフト**：このボタンを押し続けた場合、5 つのボタンの隣にある 2 次機能が実行されます（後述）。
10. **巻き戻し (⏮)**：前のチャプター、トラック、またはファイルにスキップできます。Shift を押しながらこのボタンを押すと、リピートモードが順に切り替わります。詳細については、[操作](#)の項目を参照してください。
11. **早送り (⏭)**：これらのボタンの 1 つを押すと、前または次のトラックまたはチャプターにスキップします。Shift を押しながらこのボタンを押すと、再生中にビデオまたはオーディオの一部がループします。詳細については、[操作](#)の項目を参照してください。
12. **停止 (■)**：再生を停止します。Shift を押しながらこのボタンを押した場合、ロック機能が有効/無効になります。詳細については、[その他の機能](#)の項目を参照してください。
13. **一時停止 (⏸)**：Press 再生を一時停止します。Shift を押しながらこのボタンを押すと、IR ロック機能の ON/OFF を切り替えることができます。詳細については、[その他の機能](#)の項目を参照してください。
14. **再生 (▶)**：Press 再生を開始または再開します。Shift を押しながらこのボタンを押すと、Hide OSD 機能の ON/OFF を切り替えることができます。詳細については、[その他の機能](#)の項目を参照してください。

リアパネル

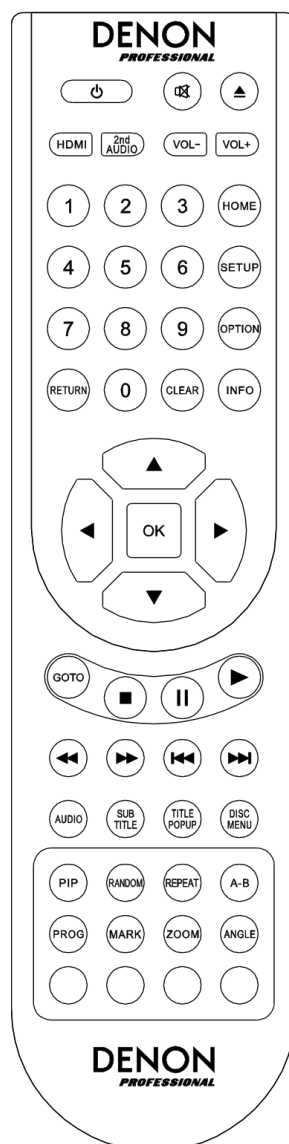


1. **オーディオ出力（バランス、XLR）**：これらの出力は、オーディオ信号を外部スピーカー、レシーバーなどに送信します。接続には、XLR ケーブルを使用します。詳細については、[設定 > 接続](#)の項目を参照してください。
2. **オーディオ出力（アンバランス、RCA）**：これらの出力は、オーディオ信号を外部スピーカー、レシーバーなどに送信します。接続には、RCA ケーブルを使用します。詳細については、[設定 > 接続](#)の項目を参照してください。
3. **7.1 出力（アンバランス、RCA）**：これらの 8 系統の出力は、7.1 サラウンドサウンドシステムにオーディオ信号を送ります。接続には RCA ケーブルを使用します。お使いのサウンドシステムのマニュアルも合わせて参照してください。
4. **同軸出力**：この出力は、デジタルオーディオ信号をテレビに送信します。接続には同軸ケーブルを使用してください。
5. **HDMI 出力**：この出力は、外部デバイスから HDMI オーディオおよびビデオ信号を送信します。接続には HDMI ケーブルを使用してください。
6. **LAN ポート**：この入力では、ホストデバイス（通常の場合、コンピューター）を本機に接続することができます。本機から送信されたコマンドにより、ホストデバイスを使用して本機を制御することができます。また、この接続を使用してインターネットにアクセスすることもできます。接続にはイーサネットケーブルを使用してください。
7. **USB 入力**：この入力では、接続された USB デバイスからオーディオおよびビデオ信号を受信します。接続には、USB ケーブルを使用してください。
8. **リモート入力**：この入力では、ホストデバイス（通常の場合、コンピューター）を本機に接続することができます。ホストデバイスを使用して送信されたコマンド（RS-232C シリアル通信）で、本機を制御することができます。
9. **AC 入力**：付属の電源ケーブルを使用して、コンセントに接続します。詳細については、[設定 > 接続](#)の項目を参照してください。

リモコン

重要：リモコンを操作するときは、リモコンを本体のリモートセンサーに向けます。センサーが直射日光や強い人工の光（インバータ式蛍光灯など）、赤外光などに晒されると、本機やリモコンが正常に機能しないことがあります。

- 電源 (⏻)：**本機の ON/OFF を切り替えます。ボタン上部のライトは、OFF 時には赤色に、ON 時には緑色になります。**AC 入力**が電源コンセントに正しく接続されていることを確認してください。また、メディアが損傷する可能性があるため、再生中には本機の電源を切らないでください。
- ミュート (🔇)：**本機の音声ミュートされます。このボタンが機能しない場合は、出力ボリュームを **Fixed** ではなく **Variable** に設定します（[設定の調整>設定>オーディオ設定](#)の項目を参照）。
- 取り出し (⏮)：**このボタンを押すとディスクトレイが取り出されます。
- HDMI：**このボタンを押すと、使用可能な画像解像度が選択されます：Auto（本機が最適な解像度を自動的に検出します）、480i/576i、480p/576p、720p、1080i または 1080p。
- 2nd AUDIO：**ピクチャー・イン・ピクチャー機能で使用するオーディオの言語が選択されます。この機能は、それに対応するディスクでのみ使用できます。詳細については、[操作 > サウンド](#)の調整の項目を参照してください。
- Vol -/+：**音量を上下することができます。これらのボタンが機能しない場合は、出力ボリュームを **Fixed** の代わりに **Variable** に設定します（[設定の調整 > 設定 > オーディオ設定](#)の項目を参照）。
- 番号ボタン (0～9)：**対応する番号を入力することができます。メディアの再生時、追加メニューや画面を表示していないときは、数字または数字を入力すると、そのディスクのチャプターまたはオーディオトラックが選択されます。
- RETURN：**前のメニュー／画面に戻ります。
- CLEAR：**現在のフィールドが消去（すべて削除）されます。
- HOME：**ホーム画面が開きます。詳細については、[操作 > 入門（ホーム画面）](#)の項目を参照してください。
- SETUP：**セットアップメニューが開きます。詳細については、[操作 > 設定の調整 > オプション](#)の項目を参照してください。
- OPTION：**オプションメニューが開きます。詳細については、[操作 > 設定の調整 > オプション](#)の項目を参照してください。
- INFO：**情報画面が開きます。
- カーソルボタン (⬅➡⬆⬇)：**これらのボタンを使用して、ファイルとフォルダをナビゲートします。
- OK：**このボタンを押して選択を確定します。
- GOTO：**このボタンを押すと、スキップする時間を手動で入力できます。詳細については、[操作](#)の項目を参照してください。
- 停止 (■)：**このボタンを押すと、再生を停止します。
- Pause (⏸)：**このボタンを押すと、一時再生を停止します。
- Play (▶)：**このボタンを押すと、再生を開始または再開します。
- サーチ・巻き戻し/早送り (⏮/⏭)：**これらのボタンを押すと、それぞれ巻き戻し/早送りができます。同じボタンを押すたびに、スピードが上がります。通常の再生速度に戻る前にこれを 5 回まで行うことができます。
- スキップ・巻き戻し/早送り (⏮/⏭)：**前または次のトラックまたはチャプターにスキップします。
- AUDIO：**ビデオ再生中にこのボタンを押すと、画面の左上隅に現在のオーディオ設定が表示されます。その後ボタンを押す度に、次の使用可能な設定が選択されます。使用可能な設定は、ビデオでサポートされているオーディオ設定に依存します。たとえば、ビデオファイルでは**ステレオ**、**モノ**、**左**または**右**を選択でき、Blu-ray ディスクでは**DTS-HD MA**（マスターオーディオ）または**Dolby Digital**をさまざまな言語で選択できます。



23. **SUB TITLE**：画面の右上隅に現在の字幕言語が表示されます。その後ボタンを押す度に、次の利用可能な字幕言語が選択されます。字幕を無効にするには、**OFF** を選択します。
24. **TITLE POPUP**：再生を停止することなくディスクのタイトルメニューが表示されます。
25. **DISC MENU**：再生を停止し、ディスクのメイン/トップメニューに戻ります。
26. **PIP**：ピクチャー・イン・ピクチャー機能の有効/無効を切り替えます。
27. **RANDOM**：ランダムモードが順に切り替わります。詳細については、[操作](#)の項目を参照してください。
28. **REPEAT**：リピートモードを順に切り替えます。
29. **A - B**：再生中にビデオまたはオーディオの一部をループすることができます。
30. **PROG**：特定の順序で再生するトラックを選択するためのプログラムページが表示されます。詳細については、[操作 > オーディオディスクの再生 > 追加機能](#)の項目を参照してください。
31. **MARK**：ビデオの特定の位置を「マーク」します。
32. **ZOOM**：画像を拡大または縮小します。利用できるズーム距離は、**2x**、**3x**、**4x**、**1/2**、**1/3** および **1/4** 倍です。画面にズーム倍率が表示されていないときは、通常のズーム倍率で表示されていることを示しています。
33. **ANGLE**：別のカメラアングルが選択されます。この機能は、特定の DVD または Blu-ray ディスクでのみ使用できます。
34. **赤、緑、黄、青**：使用しているディスクに固有の機能を実行するには、これらのボタンを押します（これらのボタンの使い方については、お使いのディスクに情報が記載されています）。これらの機能はディスクによって異なり、すべてのディスクでサポートされているわけではありません。

バッテリーの使用

バッテリーを交換するには：

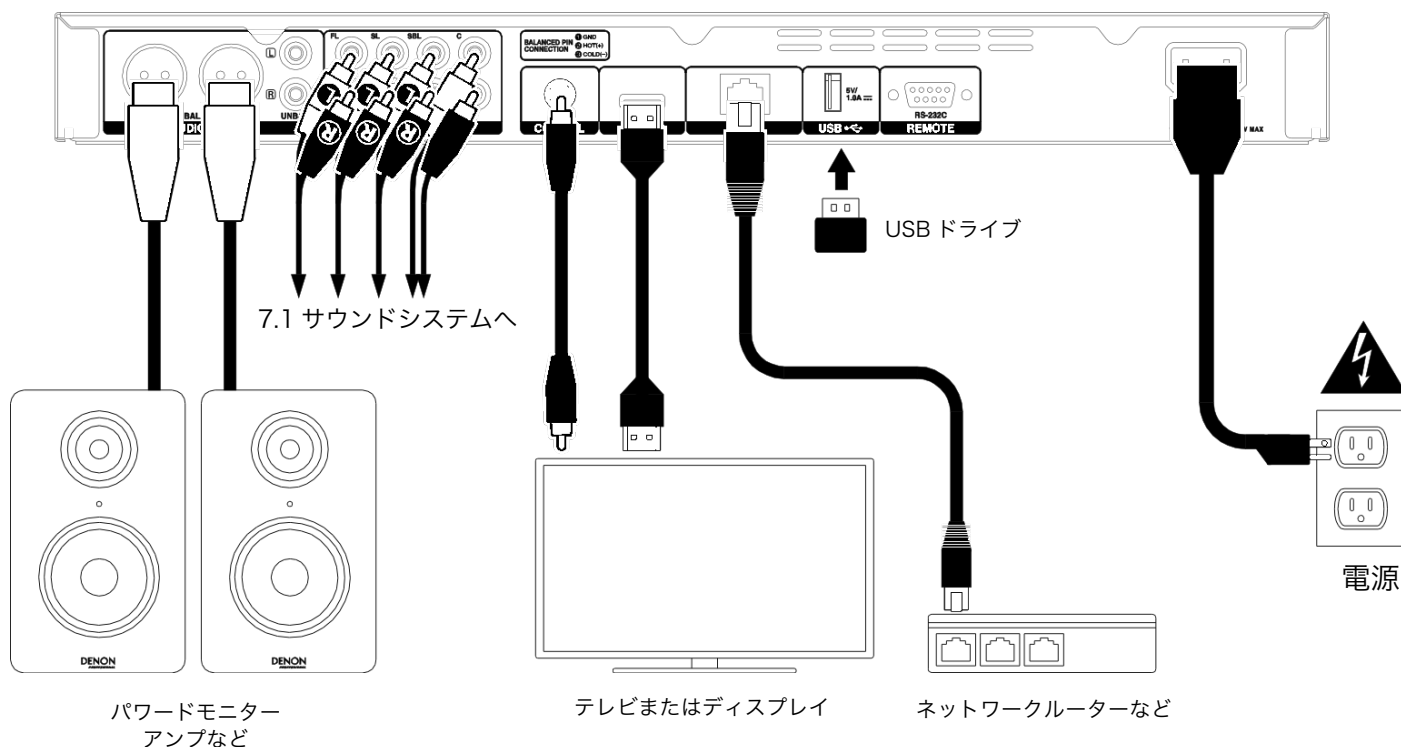
1. リモコンの背面にある小さなタブを内側に押し、バッテリーの蓋を取り外します。
2. 古い電池を取り外し、新しい単 4 電池を 2 本挿入します。それぞれが正しい極性（+または-）方向を向いていることを確認してください。
3. バッテリーの蓋を元の位置に戻します。

重要：バッテリーを使用または交換するときは、次の点に注意してください。

- 単 4 電池を 2 本使用してください。
- 電池を乱暴に取り扱ったり、分解したりしないでください。
- 電池を交換するときは、極性（+と-）を正しい向きにしてください。
- 高温や直射日光の当たる場所に電池を放置しないでください。
- 幼児や子供の手の届かないところに電池を保管してください。万一、バッテリーを飲み込んだ場合は、**直ちに**医師に相談してください。
- 漏れた電池はすぐに廃棄してください。電解液が皮膚や衣服を燃やす可能性があるため、取り扱いには十分注意してください。電解液が皮膚や衣類に触れた場合は、直ちに水道水で洗い流し、医師に相談してください。
- 電池を廃棄する前に、地方自治体の廃棄処分場に記載されている指示に従って、テープなどで絶縁し、火事の発生しない場所に廃棄してください。単 4 電池を 2 本使用してください。

セットアップ

接続



※はじめに > 同梱品 にはないものは別売です。

重要：ケーブルはすべて正しく接続してください（ステレオケーブルの場合：左は左に、右は右に）。電源ケーブルを束ねたり、包んだりしないでください。

これらの手順のすべてが特定のオーディオ/ビデオの設定に適用されるわけではありませんが、少なくとも手順 1 と手順 6 は行う必要があります。

- 以下のいずれかの方法で、本機を TV モニターまたはディスプレイに接続します。
 - HDMI ケーブルを使用して、HDMI 出力をテレビモニターまたはディスプレイの **HDMI 入力** に接続します。
 - オーディオのみ：同軸ケーブルを使用して同軸出力を TV モニターの **同軸入力** に接続します。
- 必要であれば：次のいずれかまたは両方で、本機をサウンドシステムに接続します。
 - XLR ケーブルまたはステレオ RCA ケーブルを使用して、外部レシーバー、アンプ、パワースピーカーなどのアナログ入力に **オーディオ出力**（バランスまたはアンバランス）を接続します。
 - RCA ケーブルを使用して 7.1 出力を **7.1 サラウンドサウンドシステム** に接続します。
- 必要であれば：再生可能なコンテンツの入った USB ハードドライブを **USB ポート**（前面パネルまたは背面パネル）に接続します。
- 必要であれば：9 ピン D-Sub ケーブルを使用して、リモート入力を制御するホストデバイス（通常はコンピュータ）に接続します。
- 必要であれば：イーサネットケーブルを使用して、**LAN ポート** をモデムまたはホストデバイスに接続します。
- すべての接続が完了したら、付属の電源ケーブルを使用して **AC 入力** をコンセントに接続します。

初期ウィザード (Initial Wizard)

1. 本機の**電源ボタン**を押して電源を入れます。テレビがオンになっていることを確認してください。
2. 初期ウィザード (Initial Wizard) 画面が表示されます。初期ウィザードの各ページで：
 - 使用可能なオプションを移動するには、リモコンの上下カーソルボタン (▲▼) を使用します。Use the **up/down cursor buttons (▲▼)** on the remote control to move through the available options.
 - **OK** を押して選択を確定し、次のページに移動します。
 - 前のページに戻るには、**Skip Back (⏮)**を押します。
3. ページ 1 で、リモコンの **OK** を押して次の画面に移動します。
4. ページ 2 では、ディスプレイで使用する言語を選択します。
5. ページ 3 では、現在地の放送規格を選択します。**NTSC**、**PAL**、または **Multi** です。**Multi** は、テレビが NTSC と PAL の両方のシステムをサポートしている場合のみ選択してください。
6. ページ 4 では、テレビの解像度を選択します。**OK** を押すと、解像度が一時的に変わるので、**Yes** または **No** を選択して、その解像度を使用するかどうかを決定します。15 秒以内にこれを行わないと、解像度は前の設定に戻ります。
7. ページ 5 では、テレビのアスペクト比を選択します。**OK** を押すと、アスペクト比が変わり、ページ 5 が続行されます。そのアスペクト比を使用しない場合は **Skip Back (⏮)**を押して、前のページに戻り、別のアスペクト比を選択します。
8. ページ 6 では、**OK** を押してホーム画面を表示し、本機の使用を開始するか、**Skip Back (⏮)**を押して、前のページに戻ります。

操作

本体の電源が OFF の場合は、**電源ボタン**を押してオンにします。

はじめに (ホーム画面)

再生するメディアの種類を選択するには：

1. リモコンで、**Home** を押してホーム画面を開きます。
2. リモコンの**左右カーソルボタン (◀▶)**を押して、オプションを移動します。
 - **Blu-ray Disc**：Blu-ray または DVD フォーマットのビデオディスクを再生する場合に選択します。
 - **Media Center**：USB ドライブ (マスストレージクラス) または SD カードのビデオ、オーディオ、画像ファイルを参照する場合に選択します。
 - **Setting**：本機の設定メニューを開きます。
3. 選択を確定するには、リモコンの **OK** を押します。

ビデオディスクの再生

本機では以下のビデオディスクフォーマットを再生して見るができます。

対応 Blu-ray ディスクフォーマット **BD25, BD50, BD-ROM, BD-R, BD-RE**

対応 DVD ディスクフォーマット **DVD, DVD+R, DVD-R, DVD+RW, DVD-RW**

基本的な操作については、次の**基本機能**の項目を参照してください。

より高度な機能については、後述の**追加機能**の項目を参照してください。

基本機能

重要：本機の上に重いものを置かないでください。ディスクの再生や本体の破損の原因となります。

ディスクを再生するには：

1. 本機本体またはリモコンの**取り出し(▲)**を押して、**ディスクトレイ**を開きます。
2. ディスクトレイにディスクを挿入し、再度本機またはリモコンの**取り出し(▲)**を押して閉じます。ディスク読み込み時、ディスプレイにはLoAdが表示され、読み込みが完了したら、bdnUが表示されます。
3. 本機は、以前に再生したことがないディスクが挿入された場合には、自動的に再生を開始します。一方、以前に再生したディスクの場合には、次のいずれかを行うことができます。
 - 最初からディスクを再生するにはリモコンの**RETURN**キーを押します。
 - 最後に停止した位置からディスクを再生するには、リモコンの**OK**を押します。

再生を停止するには、本体またはリモコンの**停止(■)**ボタンを押します。

再生を一時停止するには、本体またはリモコンの**一時停止(II)**を押します。再生を再開するには、本体またはリモコンの**一時停止(II)**または**再生(▶)**を押します。

巻き戻しと早送りは、リモコンの**Search Back/Forward(◀◀/▶▶)**で行います。同じボタンを押すたびにスピードが上がり、5段階までスピードを上げることができます。その後、通常の再生速度に戻ります。再生を再開するには、本体またはリモコンの**再生(▶)**を押します。

次のチャプターにスキップするには、本体またはリモコンの**Skip Forward(▶▶I)**を押します。チャプターリピートがON(後述)の場合には、現在のチャプターの先頭にスキップします。

前のチャプターにスキップするには、本体またはリモコンで**Skip Back(I◀◀)**を2回押します(ただし、現在のチャプターの最初の数秒以内を再生中の場合には1度だけ押してください)。チャプターリピートがオン(後述)の場合には、現在のチャプターの最初にスキップします。

チャプターの先頭に戻るには、本体またはリモコンの**Skip Back(I◀◀)**を1回押します。ただし、現在の章の最初の数秒以内を再生中の場合は、前の章にスキップします。

追加機能

ディスクメニューを表示するには、リモコンの**DISC MENU**を押します。このとき再生が停止されます。

再生を停止せずにタイトルメニューを表示するには、リモコンの**TITLE POPUP**を押します。

リピートモードを選択するには、リモコンの**REPEAT**を押すか、本体の**Shift**と**Skip Back(I◀◀)**を押して、3つのモードを順に切り替えて選択します。

- OFF：通常の操作です。
- **チャプターリピート(CH)**：現在のチャプターが連続して繰り返されます。
このリピートモードでは、**Skip Back/Forward(I◀◀/▶▶I)**を押すと現在のチャプターの先頭にスキップします。
- **タイトルリピート(TT)**：現在のタイトルが連続して繰り返されます。
-



ビデオの一部をループするには：

1. リモコンの **A - B** を押して開始点を設定するか、本体の **Shift** と **Skip Forward (▶▶)** を押します。
A - B が画面に表示されます。
2. **A - B** をもう一度押すか、本体の **Shift** と **Skip Forward (▶▶)** をもう一度押して、終了点を設定します。
A - B が画面に表示され、ループとリピートが繰り返されます。
3. ループを停止するには、リモコンの **A - B** をもう一度押すか、本体の **Shift** と **Skip Forward (▶▶)** をもう一度押します。**A - B** が画面から消え、通常の再生が続行されます。

ディスクの特定のチャプターにジャンプするには：

1. リモコンの**数字ボタン (0～9)** で、希望するチャプターの番号を選択します。
2. **OK** を押すか数秒待つと、選択が確定され、目的のチャプターが再生されます。キャンセルするには、**CLEAR** を押します。

ディスクの特定のタイトル、チャプター、または時間にジャンプするには：

1. リモコンの **GOTO** を押します。情報パネルが画面上部に表示されます（タイトル、チャプター、または時間を選択する前に操作をキャンセルするには、**GOTO** をもう一度押すか、情報パネルの青い正方形のカーソルが消えるまで待ってから **INFO** を押します）。
2. **左右カーソルボタン (◀▶)** を使用して、利用可能なフィールドのいずれかを選択します。
 - **タイトル**：このフィールドの"ロックを解除"するには、**OK** を押します。**上下カーソルボタン (▲▼)** または **数字ボタン (0～9)** でタイトルの番号を選択し、**OK** を押すとジャンプします。
 - **チャプター**：**OK** を押してこのフィールドの"ロックを解除"します。**上下カーソルボタン (▲▼)** または **数字ボタン (0～9)** で希望のチャプターの番号を選択し、**OK** を押してそのチャプターにジャンプします。
 - **時間**：**上下カーソルボタン (▲▼)** で、これらの3つのフィールドがチャプター (CH) またはタイトル (TT) の経過時間を表示するかを選択します。その後、**OK** を押してこれらの3つのフィールドを「ロック解除」します。**左右カーソルボタン (◀▶)** で、時間、分、秒の各フィールドを選択します。**上下カーソルボタン (▲▼)** または **数字ボタン (0～9)** を使用して、2桁の数字として入力します。**OK** を押すと、チャプター (CH) またはタイトル (TT) の指定した時間にジャンプします。
3. 別の場所に移動するには、**手順 1～2** を繰り返します。情報パネルを閉じるには、**INFO** を押します（パネルが閉じない場合は、**OK** を1回押してから **INFO** を押します）。



ブックマークは、本機本体のメモリに保存されているビデオ内の特定の場所を指します。最大12個のブックマークを設定することができ、それらの場所に直接ジャンプして、後でビデオをスキャンする時間を節約できます。

ブックマークを作成するには、ビデオ再生中に希望の場所でリモコンの **MARK** を押します。画面には、ブックマークの番号、現在のタイトル、現在のチャプター、および現在の時間が表示されます。

ブックマークにジャンプするには：

1. リモコンの **MARK** を6秒間押し続けます。再生が一時停止し、ブックマークが画面に表示されます。
2. **左右カーソルボタン (◀▶)** で、ブックマークを移動します。ブックマークを選択すると、現在のタイトル、現在の章、およびその上の現在の時刻が表示されます。作成したブックマークは白で、未使用のブックマークはグレーで表示されます。
3. **OK** を押して目的のブックマークにジャンプします。選択したブックマークの場所から再生が再開されます。操作をキャンセルして通常の再生に戻すには、**MARK** を押します。

ブックマークを消去するには：

1. リモコンの **MARK** を 6 秒間押し続けます。再生が一時停止し、利用可能なブックマークが画面に表示されます。
2. 最後に作成したブックマークを消去するには、**CLEAR** を押します。
3. **MARK** を押してブックマークを閉じ、通常の再生に戻ります。

字幕を表示するには、リモコンの **SUBTITLE** を押します。現在の字幕言語が画面の右上隅に表示されます。その後、次の利用可能な字幕言語が選択されます。字幕を無効にするには、**OFF** を選択します。

注意：この機能を正しく機能させるには、動画に字幕が準備されている必要があります。

オーディオディスクの再生

本機では、以下のオーディオディスクフォーマットを再生および表示できます：

対応 CD フォーマット	CD, CD-R、CD-RW、DTS ミュージックディスク(DTS オーディオ CD、5.1 ミュージックディスク)、HDCD、スーパービデオ CD (SVCD)、ビデオ CD (VCD)
対応 DVD フォーマット	DVD、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW

基本的な操作については、次の[基本機能](#)の項目を参照してください。

より高度な機能については、後述の[追加機能](#)の項目を参照してください。

基本機能

CD からオーディオを再生するには：

1. 本体またはリモコンの**取り出し**(▲)を押して、**ディスクトレイ**を開きます。
2. オーディオ CD を**ディスクトレイ**に挿入し、本体またはリモコンの**取り出し** (▲) を再度押して閉じます CD は正しくファイナライズされている必要があります)。ディスクの読み込み中には **LoAd** が表示され、CD の読み込みが終わると **Cd** が表示されます。
3. CD が自動的に再生されます。

再生を停止するには、本体またはリモコンの**停止** (■) を押します。

再生を一時停止するには、本体またはリモコンの**一時停止**(||)を押します。再生を再開するには、本体またはリモコンの**一時停止**(||)または**再生**(▶)を押します。

巻き戻しまたは早送りするには、リモコンの **Search Back/Forward** (◀◀/▶▶)を押します。同じボタンを押すたびに速度が上がり、通常の再生速度に戻る前に 5 段階までスピードをあげることができます。再生を再開するには、本体またはリモコンの**再生**(▶)を押します。

次のトラックにスキップするには、本体またはリモコンの **Skip Forward** (▶▶I)を押します。

前のトラックにスキップするには、本体またはリモコンで **Skip Back** (I◀◀)を 2 回押します（ただし、現在のトラックの最初の数秒以内を再生中の場合は、1 度だけ押してください）。

トラックの先頭に戻るには、本体またはリモコンの **Skip Back** (I◀◀) を 1 回押します。現在のトラックの最初の数秒以内を再生中の場合、これを行うと前のトラックにスキップされます。

追加機能

リピートモードを選択するには、リモコンの REPEAT を押すか、本体の Shift と Skip Back (◀◀) を押します (3 つのリピートモードが順に切り替わります)。

- OFF：通常の動作です。
- Repeat Track：現在のトラックが連続して繰り返されます。このリピートモードでは、Skip Back/Forward (◀◀/▶▶) を押すと、現在のチャプターの先頭にスキップします。
- Repeat All：現在のタイトルが継続的に繰り返されます。



再生モードを選択するには、リモコンの RANDOM を押します。3 つのモードを順に選択できます。

- Shuffle：CD のトラックはリピート再生されず、ランダムな順番で再生されます。CD のすべてのトラックが再生されると、リピートモードが選択されていない限り、再生は停止します。
- Random：CD のトラックがランダムな順序で再生され、また再生は無期限に続きます。また、トラックは複数回再生することもできます。
- OFF：通常の動作です。

トラックのセクションをループするには：

1. リモコンの A - B を押して希望の開始点を設定するか、本体の Shift と Skip Forward (▶▶) を押します。A-が画面に表示されます。
2. リモコンの A - B をもう一度押して終了点を設定するか、本体の Shift と Skip Forward (▶▶) をもう一度押してください。A - B が画面に表示され、ループが始まり、繰り返されます。
3. ループを停止するには、リモコンの A - B をもう一度押すか、本体の Shift と Skip Forward (▶▶) をもう一度押します。A - B が画面から消え、通常の再生が続行されます。

ディスクの特定のトラックにジャンプするには：

1. リモコンの数字ボタン (0~9) を使って、トラックの番号を選択します。
2. 選択を確定するには、OK を押すか、数秒待ちます。すると、目的のトラックが再生されます。キャンセルするには、CLEAR を押します。

ディスクの特定のトラックまたは時間にジャンプするには：

1. リモコンの GOTO を押します。情報パネルが画面上部に表示されます (トラックまたは時間を選択する前に操作をキャンセルするには、GOTO をもう一度押すか、情報パネルの青い正方形のカーソルが消えるまで待つから、INFO を押します)。
2. 左右のカーソルボタン (◀▶) を使用して、使用可能なフィールドのいずれかを選択します。
 - Track：OK を押してこのフィールドの"ロックを解除"します。上下カーソルボタン (▲▼) または数字ボタン (0~9) を使用して目的のトラックの番号を選択し、OK を押すとジャンプします。
 - Time：上下カーソルボタン (▲▼) を使用して、これらの 3 つのフィールドがトラックまたはディスクの経過時間を表示するかどうかを選択します。その後、OK を押してこれらの 3 つのフィールドを「ロック解除」します。左右のカーソルボタン (◀▶) を使用して、時間、分、秒の各フィールドを選択します。上下カーソルボタン (▲▼) または数字ボタン (0~9) を使用して、それぞれ 2 桁の数字を入力します。OK を押すと、トラックまたはディスクのその時間にジャンプします。
3. 別の場所にジャンプするには、手順 1~2 を繰り返します。情報パネルを閉じるには、INFO を押します。



プログラム（特定の順序で再生するトラックリスト）を作成するには：

1. リモコンの **PROG** を押します。プログラムページが画面に表示されます。
Program ページでは、メディアの種類と合計トラック数（**Track Total**）が、Program の 15 の利用可能なスロットの上に表示されます。
 2. Program ページで以下のいずれかの操作を行います。
 - 本体またはリモコンの再生（▶）を押すと、プログラムの再生が開始されます。
 - リモコンの **RETURN** キーを押すと、いつでもプログラムページを終了できます。これにより、プログラムのすべてのスロットがクリアされます。
 - リモコンの **OK** を押すと、プログラムの現在のスロット（黄色で示されている）がロック解除されます。
上下カーソルボタン（▲▼）または数字ボタン（0～9）を使用して目的のトラックを入力し、**OK** を押して選択を確定します。
 - プログラムの現在のスロット（黄色で示されている）にトラック番号が含まれている場合は、リモコンの **CLEAR** を押してそのスロットをクリアします。
- Program ページが表示されているときは、上記以外のボタン（本体またはリモコン）は使用できません。

ファイルの再生（ビデオ、オーディオ、または写真）

本機では、USB ドライブ（マスタストレージクラス）上の次のファイル形式を再生することができます：

対応ビデオファイル形式 .3gp, .asf, .avi, .dat, .divx, .mkv, .mov, .mp4, .mpg, .m2ts, .ogm, .rmvb, .tp, .ts, .wmv

字幕フォーマット（ビデオ） .ass, .smi, .srt, .ssa, .sub

対応オーディオファイル形式 .ape, .flac, .m4a (AAC), .mp3, .wav

対応静止画形式 .gif, .jpg (または.jpeg), .png

重要：USB ドライブまたは SD カードは、FAT16、FAT32、NTFS ファイルシステムを使用する必要があります。

基本的な操作については、次の[基本機能](#)の項目を参照してください。

より高度な機能については、後述の[追加機能](#)の項目を参照してください。

基本機能

USB ドライブ/SD カード

ファイルをブラウズしてファイルを再生するには：

1. USB ドライブを前面パネルまたは背面パネルの **USB ポート** に (SD カードの場合は SD カードをフロントパネルの SD カードスロットに) 挿入します。本機が USB ドライブを認識すると、ディスプレイに **USb In** (SD カードの場合は **CARD IN**) が表示されます。
2. リモコンの **HOME** を押してホーム画面を表示します。
3. 左右カーソルボタン（◀▶）を押して **Media Center** を選択し、**OK** を押します。Media Center が画面に表示されます。
4. Media Center で次のいずれかの操作を行います。
 - 上下カーソルボタン（▲▼）で、リスト内の前/次の項目に移動します。
 - 選択したフォルダに入るには、**OK** または **再生**（▶）を押します。
 - 左のカーソルボタン（◀）または **RETURN** を押して、次に高いフォルダ（現在のフォルダの 1 つ上の階層）に戻ります。または、上カーソルボタン（▲）を使用して、リストの一番上にある（.. at the Press the top of the list）と書かれたフォルダーに移動し、**OK** または **再生**（▶）を押します。
 - 選択したファイルを再生するには、**OK** または **再生**（▶）を押します。以前にファイルを再生し、終了前に停止した場合、その時点からファイルが再生が開始されます。
 - **TITLE POPUP** を押すと、プレイリストの作成に関するオプションが表示されます。これについては、以下の[追加機能](#)の項目を参照してください。
 - **HOME** を押してホーム画面に戻ります。

Media Center を使用している間は、上記以外のボタン（本体またはリモコン）を使用することはできません。

再生を停止するには、本体またはリモコンの**停止 (■)**を押します。

再生を一時停止するには、本機またはリモコンの**一時停止 (||)**を押します。再生を再開するには、本機またはリモコンの**一時停止 (||)** または **再生 (▶)**を押します。

写真を見ながら、これらのボタンを使ってスライドショーの再生を一時停止または再開できます。

巻き戻しまたは早送りを行うには、リモコンの **Search Back/Forward (◀◀/▶▶)**を押します。

同じボタンを押すたびに、スピードが上がります。通常の再生速度に戻る前に 5 段階までスピードを上げることができます。再生を再開するには、本体またはリモコンの**再生 (▶)**を押します。

画像を表示しているときに、これらのボタンを使ってスライドショーの速度を変更できます (**低速、中速、高速**)。

次のファイルにスキップするには、本体またはリモコンの **Skip Forward (▶▶|)**を押します。

前のファイルにスキップするには、本体またはリモコンで **Skip Back (|◀◀)**を 2 回押します (ただし、現在のファイルの最初の数秒以内を再生中の場合は、1 度だけ押してください)。

写真を表示している場合、このボタンは 1 回のみ押します。

ファイルの先頭に戻るには、本体またはリモコンの **Skip Back (|◀◀)** を 1 回押します。現在のファイルの最初の数秒以内を再生中の場合、これを行うと前のトラックにスキップされます。

写真を表示しているときにこのボタンを押すと、前のファイルにスキップします。

オーディオファイルを再生すると、**ファイル名、タイプ (ファイル形式)、合計時間、タイトル、アーティスト、アルバム、ジャンル**の情報が画面に表示されます。最後の 4 つの項目は、通常、ID3 タグとして含まれていますが、必ずしもすべてのオーディオファイルに存在するとは限りません。ファイルに ID3 タグがない場合、フィールドは空白になります。

写真を表示している場合には、以下の操作を行う事ができます。

- ・ 上カーソルボタン (▲) を押すと、画像を上下に反転 (ミラー) します。
- ・ 下カーソルボタン (▼) を押すと、画像が左右反転 (反転) します。
- ・ 左カーソルボタン (◀) を押すと、画像を反時計回りに 90°回転します。
- ・ 右カーソルボタン (▶) を押すと、画像を時計回りに 90°回転します。

追加機能

プレイリストは、あらかじめ決められた順序で再生するオーディオ、写真、またはビデオファイルのカスタマイズされたセットです。プレイリストを使用して、選択した順序でメディアを再生できます。

重要：プレイリストには、写真ファイル、オーディオファイル、またはビデオファイルのみを含めることができます。また、メディアが異なるプレイリストは作成できません（例：写真とビデオファイルを含むプレイリスト）。

ファイルのプレイリストを作成するには：

1. Media Center でファイルを参照しながら、プレイリストに追加するファイルを選択し、**右カーソルボタン** (▶) を押します。ファイルの横にチェックマークが表示されます。同じフォルダにあるプレイリストに追加する他のファイルについても、この手順を繰り返します（フォルダから抜けると、すべてのチェックマークが消去されます）。

現在のフォルダ内のすべてのファイルを選択するには、**TITLE POPUP** を押し、**Select All** を選択した後、**OK** を押します。すべてのファイルの横にチェックマークが表示されます。

現在のフォルダ内のすべてのファイルの選択を解除するには、**TITLE POPUP** を押し、**Clear All** を選択した後、**OK** を押します。ファイルの横にあるチェックマークはすべて消去されます。または、フォルダから抜けます。

2. 少なくとも 1 つのファイルが選択されている場合（チェックマークが付いている場合）、**TITLE POPUP** を押し、次に **OK** を押して **Add to Playlist** を選択します。そのフォルダ内の選択したファイルがプレイリストの末尾に追加され、チェックマークが消えます。

プレイリストを再生するには：

1. Media Center の最上位フォルダに移動します。
2. **プレイリストフォルダ** を選択し、**OK** を押します。
3. 目的のファイルタイプのフォルダ（**写真、音楽、ビデオ**）を選択します。
4. 再生を開始するファイルを選択し、本体またはリモコンの**再生** (▶) を押すか、リモコンの **OK** を押します。
プレイリストの再生が開始されます。

プレイリストからファイルを削除するには：

1. Media Center の最上位フォルダに移動します。
2. **プレイリストフォルダ** を選択し、**OK** を押します。
3. 目的のファイルタイプのフォルダ（**写真、音楽、ビデオ**）を選択します。
4. プレイリストから削除するファイルを選択し、**右カーソルボタン** (▶) を押します。ファイルの横にチェックマークが表示されます。同じフォルダにあるプレイリストから削除する他のファイルについても、これを繰り返します（フォルダの階層を抜けると、すべてのチェックマークが消去されます）。

現在のフォルダ内のすべてのファイルを選択するには、**TITLE POPUP** を押して **Select All** を選択し、**OK** を押します。すべてのファイルの横にチェックマークが表示されます。

現在のフォルダ内のすべてのファイルの選択を解除するには、**TITLE POPUP** を押し、**Clear All** を選択し、**OK** を押します。ファイルの横にあるチェックマークはすべて消去されます。または、フォルダの階層を抜けます。

5. 少なくとも 1 つのファイルが選択されている場合（チェックマークが付いている場合）、**TITLE POPUP** を押してから、**OK** を押して **Remove from Playlist** を選択します。そのフォルダ内の選択したファイルがプレイリストから削除されます（この操作によって USB ドライブからファイルが消去されることはありません。ファイルは元のフォルダに残ります）。

ブックマークは、本体のメモリに保存されているビデオ内の特定の場所です。最大 12 個のブックマークを設定し、それらの場所に直接ジャンプして、後でビデオをスキャンする時間を節約できます。

ブックマークを作成するには、ビデオ再生中に希望の場所でリモコンの **MARK** を押します。画面にブックマークの番号、現在のタイトル、現在のチャプター、および現在の時間が表示されます。

ブックマークにジャンプするには：

1. リモコンの **MARK** を 6 秒間押し続けます。再生が一時停止し、利用可能なブックマークが画面に表示されます。
2. 左右カーソルボタン（◀▶）を使用して、ブックマークを移動します。ブックマークを選択すると、現在のタイトル、現在の章、およびその上の現在の時刻が表示されます。使用可能なブックマークは白で、未使用のブックマークはグレーで表示されます。
3. **OK** を押して目的のブックマークにジャンプします。そのブックマークの場所から再生が再開されます。操作をキャンセルして通常の再生に戻すには、**MARK** を押します。

ブックマークを消去するには：

1. リモコンの **MARK** を 6 秒間押し続けます。再生が一時停止し、利用可能なブックマークが画面に表示されます。
2. 最後に作成したブックマークを消去するには、**CLEAR** を押します。
3. **MARK** を押してブックマークを閉じ、通常の再生に戻ります。

サウンドの調整

重要：Vol -/+と MUTE ボタンが機能しない場合、**Output Volume** を **Fixed** ではなく **Variable** に設定してください（[設定の調整 > 設定 > オーディオ設定](#)の項目を参照してください）

音量を調節するには、リモコンの Vol -/+ ボタンを使用します。または、テレビ、リモコン、オーディオレシーバー、アンプなどの音量調整コントロールを使用します。

重要：これらのボタンは、オーディオ出力と 7.1 出力の出力レベルのみを制御します。これらの出力を使用していない場合は、テレビ、リモコン、オーディオレシーバー、アンプなどのボリュームコントロールを使用してください。

音声をミュート/ミュート解除するには、リモコンの **MUTE** (🔇) を押します。

重要：このボタンは、オーディオ出力と 7.1 出力のみをミュート/ミュート解除します。これらの出力を使用しない場合は、テレビのリモコン、オーディオレシーバーまたはアンプなどのミュートボタンを使用してください。

オーディオ設定を変更するには、リモコンの **AUDIO** を押します。現在のオーディオ設定が画面の左上隅に表示されます。その後、**AUDIO** ボタンを押すたびに、次の使用可能な設定が選択されます。使用可能な設定は、ビデオのサポートされているオーディオ設定によって異なります。たとえば、ビデオファイルでは**ステレオ**、**モノ**、**左**または**右**を選択でき、Blu-ray ディスクでは**DTS-HD MA**（マスターオーディオ）または**Dolby Digital**をさまざまな言語で選択できます。この機能はビデオ再生中のみ利用できます。

または、Options メニューのオーディオ設定を変更します。これを行う方法については、[設定の調整 > オプション](#)の項目を参照してください。

ピクチャー・イン・ピクチャー機能で使用するオーディオの言語を選択するには、リモコンの **2nd AUDIO** を押します（ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使用すると、再生中に通常画面の小さな画面で追加のコンテンツを表示できます。この機能は、対応するディスクでのみ使用できます）。

または、Options メニューでこの機能を有効/無効にします。これを行う方法については、[設定の調整 > オプション > BBMV オプション](#)の項目を参照してください。

画像の調整

画像の解像度を変更するには、リモコンの **HDMI** を押します。ボタンを押すたびに次の使用可能な解像度が選択されます（480i/576i、480p/576p、720p、1080i、1080p）。

または、Setting メニューで解像度を変更します。これを行う方法については、[設定を調整する](#)の項目を参照してください。

ピクチャー・イン・ピクチャー機能の ON/OFF を切り替えるには、リモコンの **PIP** を押します。この機能を使用すると、再生中に通常画面の小さな画面で追加のコンテンツを表示できます。この機能は、それに対応するディスクでのみ使用できます。

または、Options メニューでこの機能の ON/OFF を切り替えます。これを行う方法については、[設定の調整 > オプション](#)の項目を参照してください。

ヒント：PIP Mark 機能を有効または無効にして、ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使用して表示できるセカンドリビデオがあることを示すことができます。これを行う方法については、[設定の調整 > 設定 > 再生設定](#)の項目を参照してください。

ズーム距離を変更するには、**ZOOM** を押します。使用可能なズーム倍率は、2x、3x、4x、1/2、1/3、1/4 倍です。画面にズーム距離が表示されていないときは、通常のズーム倍率になります。

カメラの角度を変更するには、リモコンの **ANGLE** を押して、目的の角度を選択します。この機能は、特定の DVD または Blu-ray ディスクでのみ使用できます。

または、Options メニューでこの機能を有効/無効にします。これを行う方法については、[設定の調整 > オプション](#)の項目を参照してください。

その他の機能

ロック

ロック機能は、本機フロントパネル上のボタンのほぼすべてを無効にします。これにより、誤った再生の変更を防ぐことができます。

ロック機能の ON/OFF を切り替えるには、**Shift** キーを押したまま、本体の前面パネルで **STOP** を押します。ロックを有効にすると、ディスプレイの右側にある**ロックランプ**が点灯します。

Lock が有効になっている間も、次の操作を実行できます。

- 前面パネルのロック機能を無効にする。
- 前面パネルの電源ボタンを使用して本機の電源をオフにします。
- リモコンの任意の機能を使用します（IR ロック機能が有効になっていない場合）

IR ロック

IR ロック機能は（本体の前面パネルの赤外線センサーを無効にすることによって）リモートコントロールを OFF にします。これにより、誤った再生の変更を防ぐことができます。

IR ロック機能の ON/OFF を切り替えるには、**Shift** を押したまま、本体の前面パネルで **PAUSE** を押します。IR ロックを ON にすると、ディスプレイの右側にある **IR ロックランプ**が点灯します。

IR ロックが有効になっている間も（ロック機能が ON になっていない限り）前面パネル上の機能は引き続き使用できます。

OSD を非表示にする(Hide OSD 機能)

Hide OSD 機能は、ホーム画面（ブルーレイディスク、メディアセンター、および Setting）に通常表示されるオプションを隠し、起動プロセスを簡素化します。DVD/CD Auto Play が ON に設定されていると、ディスクを挿入するだけですぐに再生が開始されます。ディスクを再生するたびにホーム画面にアクセスする必要はありません（[設定の調整 > 設定 > 再生設定](#)をご参照ください）。

Hide OSD 機能の ON/OFF を切り替えるには、Shift を押したまま、本体の前面パネルで **PLAY** を押します。Hide OSD を有効にすると、ディスプレイの右側にある **Hide OSD ライト** が点灯します。

設定を調整する

設定

Setting メニューでは、本機の全体の操作に関する設定を変更できます。再生（下記[再生設定](#)を参照）、ビデオ（下記[ビデオ設定](#)を参照）、サウンド（下記オーディオ設定を参照）、ネットワーク接続（下記の[ネットワーク設定](#)を参照）、または本機自体（下記[デバイス設定](#)を参照）を設定することができます。

Setting メニューに入るには、次のいずれかの操作を行います。

- ホーム画面でリモコンの**左右カーソルボタン**（◀▶）を押して **Setting** を選択し、**OK** を押します。
- リモコンの **SETUP** を押します（ディスクがビデオを再生している間は無効です）。

Setting メニューで、リモコンを使用して次のいずれかの操作を行います：

- 右カーソルボタン**（▶）を使用して、ウィンドウ上部の 5 つのアイコンのいずれかを選択します。**再生設定**、**ビデオ設定**、**オーディオ設定**、**ネットワーク設定**、または**デバイス設定**の各アイコンを選択すると、その下のウィンドウに関連するメニューと設定が表示されます。**OK** または**下カーソルボタン**（▼）を押して、これらの設定を表示および編集します。
- リストを移動するには**、**上下カーソルボタン**（▲▼）を使用します。現在の項目は青で囲まれています。
- 項目の右側に矢印（▶）がある場合は、**OK** または**右カーソルボタン**（▶）を押して、追加オプションを含むサブメニューを開くことができます。
- 項目の左側に矢印（◀）がある場合は、**左カーソルボタン**（◀）を押すと、一番上のメニューに戻ることができます。
- サブメニューでは、現在選択されているオプションの隣に円が表示されます。**上下カーソルボタン**（▲▼）を使用して別のオプションを選択することができます。**OK** を押して選択を確定するか、**左のカーソルボタン**（◀）を押して何も変更することなく一番高い次のメニューに戻ります。

再生設定

● パワーオンモード

- DVD/CD Auto Play**：ON に設定すると、ディスクを挿入すると自動的に再生が開始されます。OFF に設定すると、ディスクを挿入した後、手動で再生を開始する必要があります。
- Repeat Mode**：Repeat Mode の種類と ON/OFF を切り替えます。ON に設定すると、DVD もしくは CD のタイトルが連続して再生されます。**Chapter Repeat**、**Title Repeat** から選択可能です。

● 設定

- PIP Mark**：ON に設定すると、ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使用して表示できるセカンダリビデオがあることを示すマークが画面に表示されます。OFF に設定すると、これらのマークは無効になります（ピクチャー・イン・ピクチャー機能は引き続き使用できます）。
- Auto Resume**：ON に設定すると、本機はディスクの再生を停止した場所を「記憶」します。そのディスクの再生を再開すると、その時点またはディスクの先頭から開始することができます。本機は最大 5 枚のディスクに対してこれを行うことができ、新しいディスクを覚える必要がある場合は最も古いディスクの内容と交換します。OFF に設定すると、この機能は無効になります。

• 言語

- **OSD**：本機のメニュー、画面、ウィンドウなどに表示されるテキストの言語。
- **Menu**：ディスクメニューに表示されるテキストの言語。この機能が正しく動作するには、ディスクが選択された言語を表示できる必要があります。The language of the text shown in disc menus. The disc must be able to display the selected language for this feature to work properly.
- **Audio**：ディスク上のオーディオの言語。この機能が正しく動作するには、ディスクが選択された言語のオーディオを再生できる必要があります。
- **Subtitle**：ビデオ再生中に表示される字幕の言語。この機能を使用するには選択した言語の字幕が必要です。

• セキュリティ

- **Change Password**：ペアレンタル・コントロール・パスワードを変更する場合に選択します。パスワードは4桁でなければなりません。番号を入力するには、**数字ボタン (0~9)** を使用します（現在のパスワードを最初に入力する必要があります。正しく入力するためには、新しいパスワードを2回入力する必要があります）。
- **Parental Control**：視聴可能な最大評価を、G、PG、PG-13、R、NC-17 または **Adult** の中から選択します。**OFF** に設定されている場合（またはディスクまたはビデオファイルにレーティング情報が含まれていない場合）、コンテンツは制限されません。
- **Country Code**：国を選択するときに使用します。

ビデオ設定

• 出力設定

- **Video Adjust : More...**を選択し、**OK** を押すと、**明るさ、コントラスト、色相、および彩度**を表示します。**左右カーソルボタン (◀▶)** でそれぞれを調整できます。**Return** を押すと前の画面に戻ります。
- **3D Output**：**Auto** に設定すると、ビデオが3Dビデオ出力を使用する場合、本機は3Dビデオ出力を自動的に表示します。**OFF** に設定すると、3Dビデオ出力は使用されません。
- **TV Aspect Ratio**：アスペクト比を **16:9 Full**、**16:9 Normal**、**4:3 Pan & Scan**、または **4:3 Letterbox** から選択します。
- **TV System**：現在地の放送規格を **NTSC**、**PAL**、または **Multi** から選択します。デフォルトでは、お住まいの地域に適合した正しいフォーマットに設定されているはずです。テレビが **NTSC** と **PAL** の両方のシステムをサポートしている場合は、**Multi** を選択します。
- **Resolution**：画像の解像度を **Auto**（本機は自動的に最適な解像度を検出します）**480i/576i**、**480p/576p**、**720p**、**1080i**、または **1080p** の中から選択します。
- **1080p24 Conversion**：**ON** に設定すると、24Hz で再生する 1080p の Blu-ray ビデオ を 60Hz（NTSC 規格の場合）または 50Hz（PAL 規格の場合）のフレームレートに変換します。**OFF** に設定した場合には、本機は常に 24 Hz で 1080p 24 Hz のブルーレイビデオを再生します。これが正しく動作するには、お使いのテレビが 1080p 24 Hz の Blu-ray ビデオに対応している必要があります。
重要：このオプションは、1080p 解像度の HDMI 出力にのみ適用されます。
- **HDMI Color Space**：HDMI 出力の色空間を選択します。**RGB PC Level**（ほとんどのコンピューターディスプレイの標準）、**YCbCr (4:4:4 色空間)**、**YCbCr 4:2:2**（ビデオディスクの元の色空間に最も近い近似値）、または **RGB Video Level**（ほとんどのビデオディスプレイの標準）の中から選択します。
- **HDMI Deep Color**：HDMI 出力のディープカラーモードを、**30 bits**、**36 bits**、**48bits**、または **OFF**（24 bits）の中から選択します。各設定は、HDMI v1.3 ピクチャーが使用するビット深度の合計を示しています。より高いビット深度を使用すると、グラデーションと色の遷移が改善されます。この機能が正しく動作するには、お使いのテレビが HDMI v1.3 に対応している必要があります。

● クローズキャプション

- **CC Attribute** : **Auto** に設定されている場合、クローズドキャプション機能はデフォルトのフォント、サイズ、色、不透明度などを使用します。Custom に設定すると、これらの属性を好みに合わせて選択できます（後述）。
- **Font Color** : テキストの色を、**Default**、**White**、**Black**、**Red**、**Green**、**Blue**、**Yellow**、**Magenta** または **Cyan** の中から選択します。
- **Font Size** : テキストのサイズを、**Default**、**Standard**、**Small** または **Large** の中から選択します。
- **Font Style** : テキストスタイルを、**Default**、**Monospaced with serifs**、**Proportionally spaced with serifs**、**Monospaced without serifs** または **Proportionally spaced without serifs** の中から選択します。
- **Font Opacity** : テキストの不透明度を、**Solid**（不透明）、**Translucent**（半透明）、または **Transparent**（透明）の中から選択します。
- **Font Edge** : テキストの文字を囲むエッジのスタイルを選択します。**Default**（デフォルト）、**None**（無し）、**Raised**（盛り上がった）、**Depressed**（凹んだ）、**Uniform**（均一）、**Left drop shadow**（左ドロップシャドウ）または、**Right drop shadow**（右ドロップシャドウ）の中から選択できます。
- **Font Edge Color** : テキストの文字周りのエッジ色を **Default**、**White**、**Black**、**Red**、**Green**、**Blue**、**Yellow**、**Magenta** または **Cyan** の中から選択します。
- **BG Color** : 背景の色を **Default**、**White**、**Black**、**Red**、**Green**、**Blue**、**Yellow**、**Magenta** または **Cyan** の中から選択します。
- **BG Opacity** : 背景の不透明度を、**Solid**（不透明）、**Translucent**（半透明）、または **Transparent**（透明）の中から選択します。
- **Window Color** : テキストの周囲のウィンドウの色を **Default**、**White**、**Black**、**Red**、**Green**、**Blue**、**Yellow**、**Magenta** または **Cyan** の中から選択します。
- **Window Opacity** : テキストの周囲のウィンドウの不透明度を **Solid**（不透明）、**Translucent**（半透明）、または **Transparent**（透明）の中から選択します。

オーディオ設定

● 機能

- **Secondary Audio Mark** : **ON** に設定すると、ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使用して表示できるセカンダリビデオがあることを示すマークが画面に表示されます。**OFF** に設定すると、これらのマークは無効になります（この機能は、対応するディスクでのみ使用できます）。

● フォーマット

- **HDMI Audio: Select Audio** : **HDMI** 出力から送信されるオーディオのフォーマットを選択します。
Stereo、**PCM**（HDMI 出力が、高度なエンコード無しに、テレビやレシーバーに直接接続されている場合に推奨）、**Bitstream**（DTS-HD Master Audio や Dolby TrueHD などの高度なエンコーディングに対応したオーディオ/ビデオレシーバーを使用時に推奨）。
- **Coaxial/Optical Output** : 同軸出力から送信されるオーディオのフォーマットを選択します。**48K**（ほとんどのオーディオ機器で対応）、**96K**（より広い周波数レスポンスで、高いサンプリングレート）、**192K**（最も広い周波数レスポンスで最高のサンプリングレート）、または **Bitstream**（DTS や Dolby Digital などの高度なエンコーディングをサポートするオーディオ/ビデオレシーバーまたはプロセッサを使用する場合に推奨）。

● サウンドコントロール

- **Crossover** : **Crossover** : サウンドシステムのクロスオーバー周波数を選択します。**OFF**、**40Hz**、**60Hz**、**80Hz**、**90Hz**、**100Hz**、**110Hz**、**120Hz**、**150Hz**、**175Hz**、**200Hz**、または **250Hz** の中から選択できます。この設定より低い周波数のオーディオコンテンツはサブウーファーに送信されます（サブウーファーを使用する場合）。
- **Dynamic Range** : **ON** に設定すると、本機はオーディオの高音量と低音量を滑らかにするために一定量の圧縮を適用します。**OFF** に設定すると、圧縮を使用しません。**Auto** に設定すると、再生中の Blu-ray ディスクで指定された圧縮が使用されます（他のディスクの場合、圧縮は適用されません）。

重要：このオプションはオーディオ出力と 7.1 出力に適用されます。また、Format > HDMI Audio 設定が PCM の場合は、HDMI 出力にも適用されます。

• スピーカー設定

- **Configuration**：サウンドシステムのチャンネル設定を 2.x、3.x、4.x、5.x または 7.x の中から選択します。
- **Test Tone**：サウンドシステムのスピーカーからテストトーンを再生する場合に選択します。左右カーソルボタン (◀▶) を使って、ダイアグラムからスピーカーを選択します。

• 出力制御

- **Output Volume**：Variable に設定すると、リモコンの Vol -/+ ボタンを使って、オーディオ出力と 7.1 出力の音量を調整できます。Fixed に設定すると、リモコンの Vol -/+ ボタンは無効になり、音量は最大音量に設定されます (後述)。
- **Maximum Volume**：オーディオ出力と 7.1 出力の可能な最高音量レベルを -10dB、-6dB、0dB、+6dB、または +10dB から選択します。音量を大きくすると歪み (クリッピング) が発生し、アンプやスピーカーが損傷する恐れがあります。出力ボリューム (上記参照) が Fixed に設定されている場合、オーディオ出力と 7.1 出力はこの音量でオーディオを再生します。

ネットワーク設定

• 機能

- **BD-Live Network Access**：インターネット上の BD-Live コンテンツへのアクセスレベルを、Permitted (すべてのコンテンツにアクセスできます)、Partial Permitted (特定のコンテンツのみにアクセスできます)、Prohibited (BD-Live コンテンツはブロック) から選択します。この機能が正しく動作するためには、本機を LAN ポート経由でインターネットに接続する必要があります。
- **BD-Live**：BD-Live コンテンツにアクセスする際、本機がファイルをダウンロードする場所を管理します。OK を押して、各オプションを設定するウィンドウを開きます。
 - **BUDA Setup**：このウィンドウには、選択したドライブの空き容量が表示されます (後述)。OK を押してドライブをフォーマットします (ドライブすべてのコンテンツが消去されます)。
 - **Please select the BUDA mode**：ダウンロードした BD-Live ファイルを保存するライブを、External (本機の USB ポートに接続された USB ドライブ) または On board (本機の内部メモリ) から選択します。一部のコンテンツを適切にダウンロードするには、ドライブに一定量の空き領域が必要です (上記参照)。

重要：USB ドライブには NTFS ファイルシステムを使用しないでください。

• 設定

- **Interface**：SelectInterface：本機がインターネットにアクセスする方法を、Ethernet (LAN ポートをイーサネット回線に接続する必要があります) または Wireless (本機はワイヤレスルーターに接続します) から選択します。この設定を変更すると、続行するかどうか尋ねられ、現在の接続が切断されます。Wireless を選択する場合は、Scan (使用可能なネットワークを表示)、Manual (ネットワークサービスセット ID [SSID] を手動で入力)、または Auto (Wi-Fi Protected Setup [WPS]) から、ネットワークの接続方法を選択します。ネットワークに接続する方法で Auto を選択した場合は、PBC (Next を選択したら、ルーターの WPS /リセットボタンを 120 秒以内に押してください)、または PIN (画面に表示されている PIN をワイヤレスルーターまたはアクセスポイントのソフトウェアコントロールパネルに入力します) から選択します。
- **Information**：このオプションは、インターネット接続に関する情報 (インターフェイス、アドレスタイプ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS1、および DNS2) を表示するウィンドウを開きます。(DHCP が OFF に設定されている場合は、リモコンでこの情報を手動で入力することができます。下記を参照してください) Return キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- **Connection Test**：本機のインターネットへの接続を確認するには、このオプションを選択します。
- **DHCP**：ON に設定すると、本機は DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を介して IP アドレス情報を取得します。OFF に設定すると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS1、および DNS2 を手動で入力する必要があります。

- 左右カーソルボタン（◀▶）を使って四角間を移動します。
 - 番号ボタン（0～9）を使用して、各スクエアの番号を選択します。
 - 下カーソルボタン（▼）を押して番号を削除します。
 - OK を押してアドレス全体を確定します。
 - Return を押して、取り消しを行い、前のメニューに戻ります。
- **Wireless Setting**：ワイヤレスネットワークへの接続方法を、**Scan**（使用可能なネットワークを表示）、**Manual**（ネットワークサービスセット ID [SSID]を手動で入力）、または **Auto**（使用可能なネットワークに自動的に接続）から選択します。なお、**Interface** 設定（上記を参照）は **Wireless** に設定する必要があります。ネットワークに接続する方法で **Auto** を選択した場合は、**PBC**（**Next** を選択したら、ルーターの **WPS/リセット** ボタンを 120 秒以内に押してください）、または **PIN**（画面に表示されている **PIN** をワイヤレスルーターまたはアクセスポイントのソフトウェアコントロールパネルに入力します）から選択します。
 - **Proxy Setting**：**Disable** に設定すると、本機はプロキシサーバーを使用しません。**Enable** に設定すると、本機は、**プロキシホスト**と**プロキシポート**ウィンドウの情報を利用し、プロキシサーバーを使用します。
 - **Proxy Host**：カーソルボタン（◀▶▲▼）を使用して、ウィンドウ内のボタン間を移動します。OK を押してそのボタンを押します。Return を押して前のメニューに戻ります。
 - **Proxy Port**：数字ボタン（0～9）を使用して、各スクエアの番号を選択します。Return を押して前のメニューに戻ります。

デバイスの設定

• ファームウェア

- **Version**：DN-500BDMKII 本体の現在のファームウェアバージョンです。
- **Upgrade**：Upgrade：ファームウェアをアップグレードするときに、本機がファームウェアファイルにアクセスする方法を、**Disc**、**USB Storage**、または **Network** から選択します。ファームウェアアップデートファイルに添付された指示に従ってください。

• 設定

- **Remote Control Code**：他の Denon Professional 製品を使用している場合、それらが意図せず本機のリモコンに応答する場合があります。このような場合には、通信を別々に保つために、リモコンのバッテリーカバーを開け、Remote Control Code 選択スイッチで別のリモコンコード（**Code 1**、**Code 2** または **Code 3**）を選択します。
- **HDMI CEC**：**ON** に設定すると、本機のリモコンは、**HDMI 出力**に接続されたテレビ（HDMI CEC 対応のテレビが必要）と本機にコマンドを送信できます。**OFF** に設定すると、本機のリモコンは本機にのみコマンドを送信します。
- **Setup Management**：本機のすべての設定を接続された USB ドライブに .bin ファイルとして保存するには、**Export** を選択します。**Import** を選択すると、以前に保存した本機の .bin ファイルを、接続された USB ドライブからインポートできます。
- **Reset Factory Defaults**：**OK** を選択すると、本機の現在の設定がすべて消去され、工場出荷時の設定に戻ります（ファクトリーリセット）。ファクトリーリセットを行わない場合は **Cancel** を押します。**OK** を選択しファクトリーリセットを行うと、（本機を初めてセットアップしたときと同様に）初期ウィザード画面が表示されます。
- **Serial Bit Rate**：**9600**、**38400**、または **115200** からシリアルビットレートを選択します。

オプション

Options メニューでは、Setting メニューに入ることなく再生中に特定の設定を変更できます。Options メニューは、画面の左側に表示されます。使用可能なオプションは、現在使用しているメディアの種類に依存します。それぞれ、DVD または Blu-ray ディスクは **BDMV オプション**、ビデオファイルは **ビデオオプション**、オーディオ CD は **オーディオ CD オプション**、オーディオファイルは **オーディオファイルオプション**、画像は **画像ファイルオプション** の項目を参照してください。

オプションメニューの表示/非表示を切り替えるには、リモコンの **OPTION** を押します。または、**RETURN** キーを押して Options メニューを閉じます。

Options メニューでは、以下の操作を行います：

- リストを移動するには、上下カーソルボタン（▲▼）を使用します。現在の項目は青で囲まれています。
- 項目の右側に矢印（▶）がある場合は、**OK** または右カーソルボタン（▶）を押して、追加オプションを含むサブメニューを開くことができます。
- サブメニューで、上下に矢印がある場合（▲▼）、上下カーソルボタン（▲▼）を使って前/次のオプションを選択できます。**OK** または左カーソルボタン（◀）を押して選択を確定し、サブメニューを閉じます。
- アイテムの右側に矢印がない場合は、**OK** を押して使用可能なオプションを順番に実行するか、コマンドを実行します。

BDMV オプション

- **Title**：左側の数字は現在再生中のタイトルで、変更することができます。右の数字はタイトルの総数です。
- **Chapter**：左側の数字は、現在再生中のチャプターで、変更することができます。右の数字はチャプターの総数です。
- **Time**：タイトルの経過時間（TT）、タイトルの残り時間（-TT）、チャプターの経過時間（CH）、チャプターの残り時間（-CH）を時間で表示する場合に使用します。
- **Audio**：使用可能な設定は、ビデオでサポートされているオーディオ設定に依存します。たとえば、ビデオファイルでは **Stereo**、**Mono**、**Left** または **Right** を選択でき、Blu-ray ディスクでは **DTS-HD MA**（マスターオーディオ）または **Dolby Digital** をさまざまな言語で選択できます。
- **Angle**：左側の数字は現在の角度です（変更可能な場合）。右側の数字は利用可能な角度の総数です。この機能は、特定の DVD または Blu-ray ディスクでのみ使用できます。
- **Subtitles**：利用可能な設定は、ビデオが対応している字幕言語によって異なります。
- **Subtitle Style**：使用可能な設定は、ビデオが対応している字幕言語によって異なります。
- **Second video (PIP)**：ピクチャー・イン・ピクチャー機能を有効（ON）または無効（OFF）にします。この機能を使用すると、通常画面の再生中に、小さな画面で追加のコンテンツを表示できます。この機能は、それに対応するディスクでのみ使用できます。
- **Second audio**：ピクチャー・イン・ピクチャー機能で使用するオーディオを有効（ON）または無効（OFF）にします。この機能は、それに対応するディスクでのみ使用できます。
- **Bitrate**：ビデオまたはオーディオの現在のビットレートを表示します。
- **Still Off**：ビデオの画像をオフにし、オーディオの再生を続けることができます。この機能は有効（ON）または無効（OFF）を選択できますが、一部のビデオディスクでのみ対応しています。
- **Ins Search**：OK を押すと、ビデオをゆっくりスキャンします。
- **Ins Replay**：OK を押すと、ビデオの 10 秒前に戻ります。
- **CC Select**：クローズドキャプションの設定（OFF、Analog CC 1-4）を選択します。

ビデオオプション

- **File**：左側の数字は現在再生中のビデオファイルで、これは変更することができます。右側の数字は、フォルダ内のビデオファイルの合計数を示しています。
- **Title**（利用可能な場合）：左側の数字は現在再生中のタイトルで、これは変更することができます。右の数字はタイトルの総数を示しています。
- **Chapter**（利用可能な場合）：左側の数字は、現在再生中のチャプターで、これは変更することができます。右の数字はチャプターの総数を示しています。
- **Time**：時間を経過時間または残り時間として表示する場合に使用します。タイトルとチャプターがある場合は、タイトルの経過時間（TT）、タイトルの残り時間（-TT）、チャプターの経過時間（CH）、チャプターの残り時間（-CH）を表示できます。
- **Mode**：Normal、Random、または Shuffle の再生モードを選択します。
- **Audio**：使用可能な設定は、ビデオで対応しているオーディオ設定によって異なります。たとえば、ビデオファイルでは Stereo、Mono、Left または Right を選択でき、Blu-ray ディスクでは DTS-HD MA（マスターオーディオ）または Dolby Digital をさまざまな言語で選択できます。
- **Subtitles**：使用可能な設定は、ビデオで対応している字幕言語によって異なります。
- **Bitrate**：ビデオまたはオーディオの現在のビットレートを表示します。
- **Ins Search**：OK を押すと、ビデオをゆっくりスキャンします。
- **Ins Replay**：OK を押すと、ビデオの 10 秒前に戻ります。

オーディオ CD オプション

- **Track**：左側の数字は現在再生中のトラックで、変更することができます。右側の数字は、ディスクまたはプログラム内のトラックの合計数を示しています。
- **Time**：トラックの経過時間（Track）、トラックの残り時間（-Track）、ディスクの経過時間（Disc）、またはディスクの残り時間（-Disc）を表示します。
- **Mode**：Normal、Random、または Shuffle の中から再生モードを選択します。
- **Bitrate**：オーディオの現在のビットレートを表示します。
- **Ins Search**：OK を押すと、オーディオをゆっくりスキャンします。
- **Ins Replay**：OK を押すと、オーディオの 10 秒前に戻ります。

オーディオファイルオプション

- **File**：左側の数字は現在再生中のオーディオファイルで、変更することができます。右側の数字は、ディスクまたはプログラム内のトラックの合計数を示しています。
- **Time**：ファイルの経過時間またはファイルの残り時間を表示します。
- **Mode**：Normal、Random、または Shuffle の中から再生モードを選択します。
- **Bitrate**：オーディオの現在のビットレートを表示します。
- **Ins Search**：OK を押すと、オーディオをゆっくりスキャンします。
- **Ins Replay**：OK を押すと、オーディオの 10 秒前に戻ります。

画像ファイルオプション

- **File** : 左側の数字は現在表示されている画像ファイルで、変更することができます。 右側の数字は、フォルダ内の画像ファイルの総数を示しています。
- **Mode** : **Normal**、**Random**、または **Shuffle** の中から再生モードを選択します。
- **Slide Show Rate** : スライドショーの速度を **Slow**、**Middle** (中) 、または **Fast** から選択します。
- **Transition** : スライドショーを 1 つの画像から別の画像に移動する方法を選択します。

None 無し	Box In ボックスイン	Interlace H (horizontal) 水平インターレース	Split In H (horizontal) 水平方向に分割
Wipe Left 左ワイプ	Box Out ボックスアウト	Interlace V (vertical) 垂直インターレース	Split In V (vertical) 垂直方向に分割
Wipe Right 右ワイプ	Blending 混合		Split Out H (horizontal) 水平方向に分割
Wipe Up 上ワイプ	Dissolve 溶解		Split Out V (vertical) 垂直方向に分割
Wipe Down 下ワイプ			

付録

技術仕様

※仕様な予告なく変更になる場合がございます。

Digital System		
System	Digital media player (Blu-ray Disc, DVD, CD, SD, USB device [mass storage class]) AVCHD playback format	
Supported Disc Formats	Blu-ray Disc	BD25, BD50, BD-ROM, BD-R, BD-RE
	DVD	DVD, DVD+R, DVD-R, DVD+RW, DVD-RW
	CD	CD, CD-R, CD-RW, DTS Music Disc (DTS Audio CD, 5.1 Music Disc), HDCD, Super Video CD (SVCD), Video CD (VCD)
Supported File Formats	Video	.3gp, .asf, .avi, .dat, .divx, .mkv, .mov, .mp4, .mpg, .m2ts, .ogm, .rmvb, .tp, .ts, .wmv
	Subtitles	.ass, .smi, .srt, .ssa, .sub
	Audio	.ape, .flac, .m4a (AAC), .mp3, .wav
	Picture	.gif, .jpg (or .jpeg), .png
Supported File Systems	FAT16, FAT32, NTFS SD card with ≤ 128 GB total capacity USB drive (mass storage class) with ≤ 2 TB total capacity	
Video	Resolutions	Auto, 480i/576i, 480p/576p, 720p, 1080i, 1080p
	Aspect Ratios	16:9 Full, 16:9 Normal, 4:3 Pan & Scan, 4:3 Letterbox
	System	NTSC, PAL, Multi (if supported by TV)
	HDMI Color Space	RGB PC Level, RGB Video Level, YCbCr (4:4:4), YCbCr 4:2:2
	Output	HDMI > v1.4 (3D), HDCP v1.4
	Decoding	Video: DivX 3, 4, 5, 6; DivX HD; MPEG-1; MPEG-2; MPEG-4; MPEG-4 AVC (H.264); VC-1 (Windows Media Video); Xvid Audio: AAC; Dolby Digital; Dolby Digital Plus; Dolby TrueHD; DTS Digital Surround; DTS-HD; WMA

Audio	
Analog Outputs	Output Level (balanced XLR): +4 dBu = +1.786 dBV Output Level (unbalanced RCA): +6 dBV
Digital Output	Output Level (coaxial): 0.5V, 75 Ω Signal Format: AES/EBU
Surround Audio	DTS-Master Audio, DTS-HD High Resolution Audio, DTS Digital Surround, Dolby TrueHD, Dolby Digital (AC-3), Dolby Digital Plus (7.1ch)
Frequency Response	20 Hz – 20 kHz (±0.5 dB)
Signal-to-Noise Ratio	> 100 dB (A-weighted)
Total Harmonic Distortion	< 0.05%
Dynamic Range	> 100 dB (A-weighted)
Headroom	6 dB
Channel Separation	> 90 dB
Communication	
Remote Control	Infrared protocol, > 200 mV transmission output level
Serial Remote	Connector: 9-pin D-Sub female, RS-232C Mode: Full duplex Baud Rate: 9600, 38400, or 115200 bps (selectable)
Ethernet	Connector: LAN port Standards: Ethernet (10 Mbps), Fast Ethernet (100 Mbps)
Other / General	
Connections	(2) XLR audio outputs (L/R, balanced) (2) RCA audio outputs (L/R, unbalanced) (8) RCA audio outputs (7.1 surround sound) (1) Coaxial digital audio output (1) HDMI audio/visual output (1) LAN port (1) 9-pin D-Sub female RS-232C port (1) IEC power connection
Power	Connection: IEC Requirement: 100–240 VAC, 50/60 Hz Consumption: 15 W typical, < 0.5 W standby
Environmental Conditions	Operating temperature: 41 – 95 °F (5 – 35 °C) Operating humidity: 25 – 85%, no condensation
Dimensions (W x D x H, with rack ears)	483 mm x 273 mm x 44 mm
Weight (with rack ears)	2.7kg

商標およびライセンス

Denon は、D&M Holdings Inc.の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Blu-ray、Blu-ray Disc、およびロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。

Dolby とダブル D シンボルは Dolby Laboratories の登録商標です。

DivX と DivX マークは、DivX, LLC や関連会社の商標または登録商標で、ライセンスのもとに使用されています。

DTS の特許については、<http://patents.dts.com> をご覧ください。DTS、シンボル、DTS およびシンボルとの組み合わせ、Digital Surround、Virtual:X、DTS Digital Surround および DTS Virtual:X ロゴは、米国および/またはその他の国における商標または DTS, Inc.の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.

HDMI とロゴは、米国およびその他の国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

Java は、Oracle および関連会社の登録商標です。

その他、すべての製品名、会社名、商標やトレードネームは、それぞれの所有者のものです。

